アンケート締め切り:2024年4月12日(金)まで

※最後のページ(5-6P)に意見・提案事項を記載し、用紙を切り取って提出してください。

常総生協2024年度に向けて

春の組合員討議資料

2024年2月28日 常総生協 理事会

常総生協 理念

【食は命(いのち)】 ~ものづくり 人づくり 地域づくり~

2024年~25年度活動テーマ(案)

ともにつくる・考える 私たちの食

2024年 常総生協第51回通常総代会 開催要項

日時:6月15日(土) 10:00~12:00

場所:常総生活協同組合 組合員活動室(守谷市本町281)

常総生協第51回通常総代会で、新しい年度の活動を決めていきます。アンケートに答えて下さることで、常総生協の力になります。ご協力お願いします。

討議資料を基に「春の地区懇談会」を開催していく予定です。お気軽にご参加ください(後日、日程をお知らせいたします)。

回答用紙・WEBフォームでも回答できます。

〇回答用紙

最後のページに意見・提案事項を記載し、用紙を切り取って提出してください。

OWEBフォーム

WEBフォームはQRコード(右)を読んで入力してください。もしくはこちら→ ※ホームページにも掲載予定です。





■2023年度 ふりかえり

2023年を振り返り、2024年度の方針作りに活かしていきたいと思います。

【1】6ページの「食とくらしの点検表」で、家族の健康状態、この1年の暮らしを振り返ってみましよう ※アンケート記入・入力は任意です。

【2】1年間の活動の振り返り

①家族やご自身が元気に過ごせるように工夫・実践してきたことを教えてください。

②2022-23年度活動テーマとして「つくると食べるでつながろう」~私たちの地産地消~として援農、交流会を企画、活動、運営してきました。心に残った活動と感想をお聞かせください。

(右記枠参照⇒)

【3】生協まつりについて

2023/10/28(土) に開催された生協まつりは総来場者数414名、前年より92名増の来場者となりました。

組合員も入った実行委員会を計5回開催して、企画・内容を検討していきました。

①今後の生協まつりの開催に向けてご意見 をお聞かせください。

開催日	内容		
2023年4月1日	鎌倉ハムウィンナー講習会		
2023年5月20日	めぐみちゃん田植え		
2023年5月20日	ますだの落花生種まき交流会		
2023年5月21日	竹村さんいちご交流会		
2023年5月27日	藤井養蜂はちみつ交流会		
2023年5月27日	どんぐりていの田植え		
2023年6月3日	地産地消野菜チーム援農交流会		
2023年6月10日	地産地消チーム授農&交流会		
2023年7月8日	どんぐりてい大豆たねまき		
2023年7月22日	鎌倉ハムウインナーづくり講習会		
2023年7月29日	鈴木牧場交流会		
	地産地消野菜チーム援農交流会		
2023年9月2日			
2023年9月3日	どんぐりてい金ごまの収穫作業		
2023年9月10日	どんぐりてい大豆の草取り		
2023年9月16日	地産地消野菜チーム援農交流会		
	めぐみちゃん稲刈り		
	ますだの落花牛収穫体験交流会		
	地産地消チーム授農&交流会		
2023年10月28日			
	おさかな講習会の我孫子		
	地産地消野菜チーム援農交流会		
2023年11月18日	鈴木牧場交流会		
2023年12月2日	畜産チームローストビーフ作り方講座		
2024年1月20日	ニッコーさん講習会		
2024年1月27日	ブレス・オールタナティブ(チョコ・カレー)講習会		
2024年1月28日	みそ作りワークショップ守谷①		
2024年2月3日	みそ作りワークショップ(取手)		
2024年2月10日	みそ作りワークショップ つくば・我孫子		
2024年2月11日			

【4】地域の人たちに「常総生協」を知ってもらい仲間を増やそう

- ①常総生協の良さ、常総生協らしさとはどういうところか教えてください。
- ②常総生協を地域に広める為のイベント出店先を探しています。地域のイベント情報を教えて下さい。

【5】生協業務についてのご意見

- ①生協利用について、日常の業務、商品(扱ってほしい商品等)、催事等のご意見、ご感想、お気づきの点などをお聞かせください。
- ②経営面について、物流コスト、最低賃金、資材費の上昇があり、その一方で供給高は 年々減少傾向です。供給高が減少する中やりくりしながら事業をしていますが、慢性的に 人手不足の状態で働き方改革を推進しきれていないのが現状です。どのように改善してい く事で継続していく事が出来るか?皆様からもアイディアを頂けたら幸いです。

■2024年度に向けて

2024年~25年度活動テーマ(案)

ともにつくる・考える 私たちの食

常総生協の「生産者さんとの顔の見える関係」「組合員同士のつながり」「組合員・生産者・職員三位一体」で活動に取り組む姿勢の礎は、「食は生命(いのち)」の理念です。

近年の異常気象による環境変化や世界経済情勢が農・水・畜産へ影響を及ぼし、世界的な食糧不足・飢餓が広がりつつあります。安定した食を確保するために、遺伝子組み換え作物のみならず安全性が疑われるゲノム編集食品も市場に出回り、質・量ともに、生命のもととなる「食」への危機感が募ります。

それゆえ、無農薬・無化学肥料による農産物、抗生物質に頼らず飼料に配慮して育成した畜産物、人工添加物に頼らず原材料にこだわった加工品など、生産者と消費者(組合員)との信頼関係、支えあい、つながりによって、常総生協の食材、私たちの食卓が守られています。

また身土(しんど)不二(ふじ)、人の身体と土地は切り離せない関係にあり、その土地で旬の季節にとれたものを食べることが健康に良いという考えから、地元の生産者さんとのつながりを生かした大豆プロジェクト・援農などで、ともにつくること、安全な原材料から手作りをすることで、地産地消や安全な食への努力を続けています。

現在の食を取り巻く状況を考えると、国内自給率が低い日本においては食糧の確保そのものが懸念されます。日々の暮らしと命の基である食が未来に続き次世代に継承されるために、改めて「私たちの食」を見つめなおし、ともにつくり、一緒に考えていきましょう。

【1】「ともにつくる・考える 私たちの食」テーマ1年目として、各活動、他団体、組合員交流を実践していきます。

- ①交流してみたい、訪問してみたい産地を教えて下さい。
- ②新たな取り組みの提案があれば教えてください。
- ③日本の食糧事情、安全性について考えをお聞かせください。

【2】いのちを育み、守る取り組みをしていきます。

現在、脱原発とくらし見直し委員会、関東子ども健康調査支援基金、東海第二原発差止訴訟の3つの代表的な活動をしています。

- ①これらの活動についてご意見、ご感想をお聞かせください。
- ②取り上げてもらいたい食、社会問題などのテーマを教えてください。

【3】平和・環境・地域コミュニティの活動に取り組んでいきます。

平和の集い委員会として、「歴史を学ぼう - 未来のために」の講座、常総っ子応援団としてつくば市の流星台プレーパークで週1回の開催をしています。

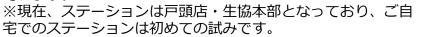
- ①これらの活動について、ご意見ご感想をお聞かせください。
- ②今後やってほしい活動があれば教えてください。

【4】仲良しグループ(班)・ステーションに関するアンケート

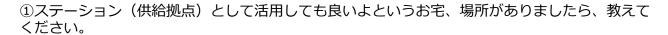
この10年間、慢性的に供給職員の人数が不足しています。そこで供給箇所を減らして、効率よく、供給ができるように、班・ステーション作りを試みようと考えています。

また、週に1度でも、組合員同士が顔を合わせる機会にもなるので、商品について情報交換したりレシピを教えてもらったり、交流のきっかけにもなります。

最初は、個人情報の問題もありますので、気心知れた仲が良い人同士(お友だち、ご家族)での班配達と、まとめて供給することができるステーション(供給拠点)から始めたいと考えています。



※班配達・ステーションについての詳しい内容は次ページをご覧ください。



みんなで

出資

仲間作り

運営

みんなで

利用

②班・ステーションについてご意見、お考えをご記入ください。 例)ステーションは無理だけど、近くにステーションがあったら利用してみたい…など

【班配達とステーションの違い】

り出したころう。クログラをデュ				
班配達	ステーション(供給拠点)			
班員全員分の商品を一括して班長のところにお届け班員またはできる人で商品を仕分け、各自、自宅に持ち帰る	個配同様にセットされた商品を一か所にお届け自分の商品を各自が受け取り自宅に持ち帰る			
 ★メリット <組合員> 配達料が安くなる 個別100円に対し、半額 組合員同士の交流が出来る 生協> 仕分け(青果・パン)や供給の際に班員全員の分をまとめてセットできる 商品がまとまっているのでセット数が少なく、荷台から降ろす作業が軽減できる 供給箇所が減るため、燃料費・CO2排出量が削減できる 梱包時の資材(蓄冷材やビニール袋)利用が減る 供給箇所が減るため、供給時間が短縮できる 供給箇所が減るため、供給時間が短縮できる 	 ★メリット <組合員> 配達料が安くなる(検討中) 組合員同士の交流が出来る 商品は各自個別にセットされている お届け明細、請求書も個別になっているので、個人情報・注文内容が他者にはわからない 時間内であれば都合の良いタイミングで商品を取りに来れる 〈生協〉 供給箇所が減るため、燃料費・CO2排出量が削減できる 供給箇所が減るため、供給時間が短縮できる 			
 ★デメリット 商品案内と一緒に、お届け明細、月一回の請求書がまとめて届く(個人の注文内容が他の班員もわかる) 班長になるとお届け場所となるため、商品を仕分けする、預かる場所が必要となる 	★デメリット ● ステーション提供者はセットされた商品を預かる場所が必要、また次週まで、すべての空箱を預かる場所が必要となる			

2024年 春の組合員討議資料アンケート用紙

<u>※アンケートは任意です。</u>提出締め切り:2024年4月12日(金)。<u>裏面もあります。切り取ってお使いください。</u>

■2023年度ふりかえり				
[2]-①				
[2]-(2)				
[3]-①				
[4]-①				
[4]-②				
[5]-①				
[5]-②				
■2024年度に向けて				
[1]-①				
[1]-(2)				
[1]-③				
[2]-①				
[2]-②				
[3]-①				
[3]-②				
[4]-①				
[4]-②				

2023年度 ふりかえり 食とくらしの点検

※アンケートは任意です。裏面もあります。切り取ってお使いください。

組合員番号:	コース名:	組合員名:
1.食事の心がけ ※☑つけてくか	どさい。複数回答	3.調理技術の基礎 ※☑つけてください。複数回 答可
回 旬のものを心がけて食べ	歯んでゆっくり食 が出来ました。 ることが出来まし ※ ☑ つけてくださ (□ 素材や調味料の目安を体得して無駄のない使い方ができました。 □ ダシ(煮干・昆布・かつお節)を取りました。 □ 4.くらしの見直し ※☑つけてください。複数回答可 □ 電気や石油をなるべく使わない生活を心がけました。 □ ゴミを削減できました。 □ 油は捨てないで、使い切りました。 □ 石けん洗剤を使いました。 □ 節水を心がけました。
け、食べ過ぎないようにた。	・大豆加工品」 か合わせて毎日の 豆類を増やせまし がけました。 D「発酵食品」を えられました。	□ 加工食品からなるべく手作り食へ切り替えを心がけました。 □ 緊急時に備え、備蓄を心がけました。 □ 地産地消を考えて購入しました。 □ なるべく車を使わないようにしました。 □ 自分で作物を作りました(家庭菜園)。
6.食とくらしの点検表をつけて		ぬを数えてみよう。→/32項目